

7、単元目標

(1) 関心・意欲・態度

健康についての学習に意欲的に取り組もうとしている。保健・医療・福祉サービスについて関心を持って取り組んでいる。社会の高齢化における課題の解決に向けて意欲的に取り組んでいる。

(2) 思考・判断・表現

介護が必要となった場合のリハビリテーションの必要性や、すべての人が暮らしやすい社会づくりについて考えることができる。

(3) 知識・理解

保健・医療・福祉の連携についての知識を身に付け、高齢者の心身の健康を支援するための社会的対策が行われていることを理解できる。

8、本時の目標

- ・高齢者の心身の健康を支援するための社会的対策が行われていることを理解する。
- ・高齢者の健康課題について理解する。
- ・保健・医療・福祉の連携について理解する。
- ・全ての人暮らしやすい社会作りについて考えることができる。

② 高齢者の健康課題

○P76 (1) 高齢者の健康課題の本読み

・段落ごとに交代して、大きな声で読んでもらう。

板書 2

・(④健康寿命)・・・(⑤寝たきり)や(⑥認知症)などにならない状態で生活できる期間。
・1日中ベッドの上で生活をする ・成人に起こる認知障害

補足

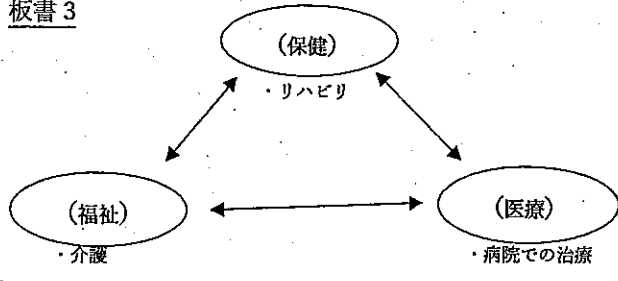
・高齢社会では、趣味やスポーツに積極的に取り組んでいる元気な高齢者もいる。
・しかし、その一方で健康や生活に不安を抱えている高齢者が増えてきている。
・ベッドの上で1日中寝たきりであったり、成人に起こる認知障害の認知症の人が増えてきている。
・高齢社会が健康で活力のあるものにするためには、健康寿命を延ばすことが重要である。
・健康寿命とは、寝たきりや認知症などにならない状態で生活できる期間のこと。

③保健・医療・福祉の連携

○P77 の図 3 を見るように指示する。

○図の説明をし、プリントの図を完成する。

板書 3



(20分)

補足

このように保健・医療・福祉の連携は、生活の質を上げていくために必要不可欠なこと。

④ すべての人が健康で安全に暮らすための取り組み

・リハビリテーション

・ノーマライゼーション

・バリアフリーとユニバーサルデザイン

OP77 (1) 「生活の質の維持」の本文を読ませる。
・段落ごとに交代して、大きな声で読んでもらう。

補足

- ・リハビリテーションは介護が必要になった場合、機能の回復や社会への復帰を目指して行う。
- ・なるべく早い時期から活用する。

OP77 (2) 「すべての人が暮らしやすい社会づくり」の本文を読ませる。

・段落ごとに交代して、大きな声で読んでもらう。

補足

- ・ノーマライゼーションとは、全ての人が、年齢や障がいの有無に関わらず、平等に通常の日常生活や社会活動を営むことを可能にするために社会を改善していく理念のこと。

板書 4

- ・(㉗リハビリテーション)・・・怪我をしたり病気になったりしたときに、できるだけ障がいを残さず、またできるだけ心身の機能を回復して、元の生活に復帰できるようにする活動のこと。
- ・(㉘ノーマライゼーション)・・・全ての人が平等に通常の日常生活や社会活動を営むことを可能にするための社会を改善していく理念のこと。
- ・(㉙バリアフリー)・・・高齢者や障がいを持つ人の日常生活の妨げとなる、身体的、精神的な障壁(バリア)をなくしていこうとする考え方。
- ・(㉚ユニバーサルデザイン)・・・最初から全ての人に使いやすいように施設、製品、環境などをデザインするという考え方。

○プリントの穴埋めをする。

○6枚の写真を1枚ずつ見せながら、バリアフリーとユニバーサルデザインを見せて、高齢者や障がい者の立場で考えてみる。

補足

- ・バリアフリーとは、高齢者や障がいを持つ人の日常生活の妨げとなる、身体的、精神的な障壁(バリア)をなくしていこうとする考え方。
- ・ユニバーサルデザインとは、最初から全ての人に使いやすいように施設、製品、環境などをデザインするという考え方。

<p>展 開 2</p>	<p>(15分)</p>	<p>○写真のそれぞれにおける使いやすいところを発表してもらおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノンステップバス (バリアフリー) ・手すり付きのトイレ (バリアフリー) ・上段の商品のボタンが下にある自動販売機 (ユニバーサルデザイン) ・高さの違う洗面台 (ユニバーサルデザイン) ・手すり付きの階段と点字ブロック (バリアフリー) ・駅のプラットホームにあるホームドア (ユニバーサルデザイン) <p><u>発問2</u> 学校の中にあるバリアフリーの施設やユニバーサルデザインの施設はどこにあるでしょう？</p> <p>○写真を見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄関や体育館の入り口にあるスロープ ・さくら支援学校にある手すりのついている廊下 <p><u>補足</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近にバリアフリーやユニバーサルデザインの施設や環境などがあり社会的取り組みが進んでいる。
<p>ま と め</p>	<p>○まとめ ○プリント回収 ○次時の説明 ○挨拶 (10分)</p>	<p>○本時の内容を振り返る。(評価)</p> <p>○回収前に、名前を書いているか確認をする。</p> <p>○次時は、前回の妊娠と出産の続きで、出産についての内容をすることを伝える。</p> <p>○全員起立をさせて、元気よく挨拶をする。</p>

7.高齢者のための社会的取り組み

年 組 番 氏 名

- ・日本では、総人口に占める 65 歳以上の人口割合が年々増加をしている。

(①)

2024 年には、約 (②) % を超え、2060 年には、約 (③) %

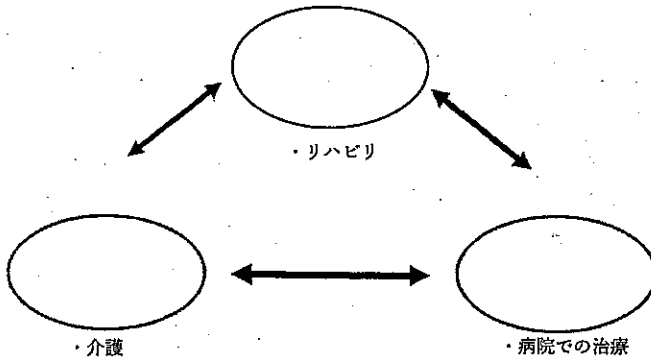


社会の高齢化がさらに進むと予測される。

- ・ (④) …… (⑤) や (⑥) などにならない状態で生活できる期間。

・ 1 日中ベッドの上で生活をする ・ 成人に起こる認知障害

○教科書 P77 の図 3 を見て、3 つの連携についてまとめてみよう。



連携をすることで、
生活の質の向上につながる。

- ・ (⑦) …… 怪我をしたり病気になったりしたときに、できるだけ障がいを残さず、またできるだけ心身の機能を回復して、元の生活に復帰できるようにする活動のこと。
- ・ (⑧) …… 全ての人平等に通常の日常生活や社会活動を営むことを可能にするための社会を改善していく理念のこと。
- ・ (⑨) …… 高齢者や障がいを持つ人の日常生活の妨げとなる、身体的、精神的な障壁 (バリア) をなくしていこうとする考え方。
- ・ (⑩) …… 最初から全ての人に使いやすいように施設、製品、環境などをデザインするという考え方。

◎授業資料

1.ノンステップバス (バリアフリー)

段差のないバス。車椅子の人でも乗り降りしやすいように作られている。

2.手すり付きのトイレ (バリアフリー)

足腰が不自由になってきた高齢者が、生活の不便を減らすために手すりがつけられている。

3.上段の商品のボタンが下にある自動販売機 (ユニバーサルデザイン)

車椅子の人や小さい子供が届かない上段の商品のボタンを下に付けている。

4.高さの違う洗面台 (ユニバーサルデザイン)

車椅子の人や小さい子供など誰もが使えるように高さの違う洗面台が設置されている。

5.手すり付きの階段と点字ブロック (バリアフリー)

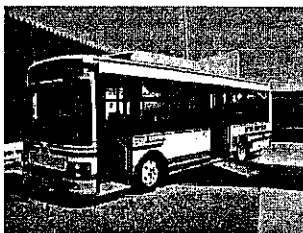
高齢者や小さい子供が安全に階段を上り下りできるように手すりがつけられている。

目の不自由な人のために点字ブロックがつけられている。

6.駅のプラットフォームにあるホームドア (ユニバーサルデザイン)

ホームからの転倒や車両との接触事故を防ぐために付けられている安全対策。

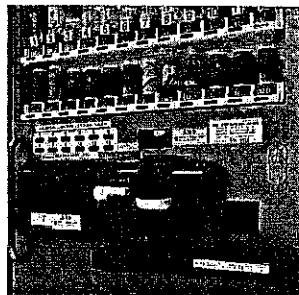
1



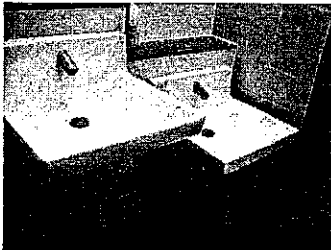
2



3



4



5



6

